

## 道路事業の再評価概要書

( ) は、前回計画時

番号		1	
事業主体		栃木県	
事業名	快適で安全な道づくり事業	事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	主要地方道 つくば <sup>ましこ</sup> 益子線	事業箇所名	益子町 <sup>ましこ</sup> 長堤 <sup>ながつつみ</sup>
事業区間	芳賀郡益子町 <sup>ましこ</sup> 長堤 <sup>ながつつみ</sup> ～益子 <sup>ましこ</sup>	事業延長	3,800m
H20年度事業化		H20年度用地着手	
H24年度工事着手			
事業期間	(H29) H20年度～H34年度	事業進捗状況	基準年次：【平成29年度末時点】 進捗率
[うち用地補償費]	[ 14.7 (9.0)億円]	[うち用地補償費]	[ 11.2 億円] [ 76%]
全体事業費	29.7 (28.5)億円	既投資事業費	14.2 億円 48%
事業概要	<p>主要地方道つくば益子線は、清流ふれあいサブコリドールの一部を形成する広域交通を担う道路であり、茨城県つくば市を起点とし、北関東自動車道の桜川筑西 IC を経て、益子町に至る幹線道路である。</p> <p>首都圏等から益子町への主要なアクセス道路となるため、益子町の観光産業である益子陶器市等の開催時には道路が大変混雑し、円滑な交通に支障をきたしている。</p> <p>また本路線（現道）は、屈曲して見通しが悪いうえ歩道がないことから、通行車両のほか通学児童等が大変危険な状況である。</p> <p>このことから、バイパスを整備することにより、観光・地域産業の支援となる地域間の交流連携強化を図り、安全で円滑な交通を確保するものである。</p>		
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等			
事業期間の延伸及び全体事業費の変更			
事業の投資効果	<p><b>1 費用対効果分析結果</b> 【総便益 (B)】 【総費用 (C)】</p> <p>(1) 事業全体 B/C=1.9 59.9 億円 31.6 億円</p> <p>(2) 残事業 B/C=3.7 57.3 億円 15.6 億円</p> <p><b>2 事業の整備効果等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清流ふれあいサブコリドールの一部としての広域的な連携強化</li> <li>・快適で安全な交通の確保</li> <li>・通学児童等の安全の確保</li> </ul>		
事業の進捗状況等	<p><b>1 事業の進捗状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅ましこの供用（平成28年10月）に合わせて、延長約0.5km区間を完成させた。</li> <li>・今年度は、一級河川ぐみ川渡河部の延長約0.5km区間において、橋梁工事を実施する予定である。</li> </ul> <p><b>2 今後の事業進捗の見込み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残る延長3.3km区間について、引き続き用地取得及び工事を推進し、平成34年度に全線供用を図る予定である。</li> </ul>		
コスト縮減等	<p><b>1 コスト縮減方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再生骨材、再生アスファルト合材を積極的に活用しコスト縮減</li> <li>・建設発生土の公共工事間流用によりコスト縮減</li> <li>・鉄道管理者との鉄道交差形式に係る協議が整い、平面踏切とすることによりコスト縮減</li> </ul> <p><b>2 代替案立案等の可能性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約8割の用地を取得済みであることから、本計画が最適である。</li> </ul>		
事業の対応方針（案）	本計画で事業を継続する。		







**現道の状況**



**供用区間【(主)つくば益子線(道の駅ましこ周辺)】**



**供用区間【(主)つくば益子線(道の駅ましこ周辺)】**